

学校だより



稲荷台

令和5年4月28日

5月号

横浜市立稲荷台小学校

がんばる1年生

校長 中山 正之

藤の花がきれいな季節になりました。先日いただいたタウン紙『藤棚新聞』によると、西区には藤の花が見られる場所が18か所もあるそうです。学校の近くでは、藤棚一番街、浜松町公園、藤棚地区センターなどに藤棚があり、この季節には紫色の美しい花を咲かせています。本校のある「藤棚町」という町名にもあるように、西区は藤の花と昔からゆかりがあります。ただ近年は花が咲かない場所もあるようで、この藤の花を区内でもっと美しく彩るために、現在、西土木事務所が「藤の花再生プロジェクト」という取組を進めています。これは専門家の指導を受けた藤の木の管理や、市民の方々との情報共有等を行い、区全体で藤の花の再生を進める活動だそうです。地域の歴史や環境について子ども達が学べる機会にもなり、このプロジェクトはとても興味深く意義のあるものです。西区にとって大切な藤の花が、再び多くの場所で咲くことを願い、今後の活動に注目していこうと思います。

さて、1年生が入学してそろそろ一か月になります。45分間の授業に少しずつ慣れ、休み時間には校庭で元気に遊ぶ様子が見られます。教室では笑顔で過ごしている子がとても多く、学校の生活になじんできていることが分かります。給食の時間には、6年生や先生方に手伝ってもらいながら準備や片付けをし、自分達で給食を運び、配膳を行っています。一つひとつではありますが、できることが増え日々着実に成長していることが感じられます。4月19日には「ようこそ稲荷台小学校へ集会」で全校児童が集まり、上の学年の子ども達から大きな歓迎を受けました。今後は、6年生とのバディ活動や、縦割り活動も始まってきます。多くの人と交流を重ねながら、学校生活を豊かにしていってほしいものです。

ところで、私達は毎朝校門で子ども達を迎えているのですが、4月以来、子ども達の「おはようございます。」の声が以前より増えていることに少し驚いています。特に1年生の元気なあいさつが目立っています。そして1年生の元気な声に、上の学年の子達が自然と引っ張られてあいさつをしているように見えます。横断歩道を渡る指導をしている舟山先生も「あいさつする子が増えましたね。」と感心しています。新しく迎えた1年生達が上の学年の子達を元気にしてくれているようで、とても素晴らしいことだと感じています。これをきっかけとして、元気なあいさつが全校で定着していくことを期待しています。

連休が明けると、初夏のさわやかな季節へと移っていきます。学校や地域の行事もたくさん始まります。全校の子ども達が、毎日を楽しみにしながら過ごすことを願っています。